

## プロジェクト名

漁業法の改正に基づく漁獲報告の精度向上と効率化のための実証

## 衛星データ利用者名

和歌山県農林水産部水産局  
和歌山県漁業協同組合連合会

## サービス提供者名

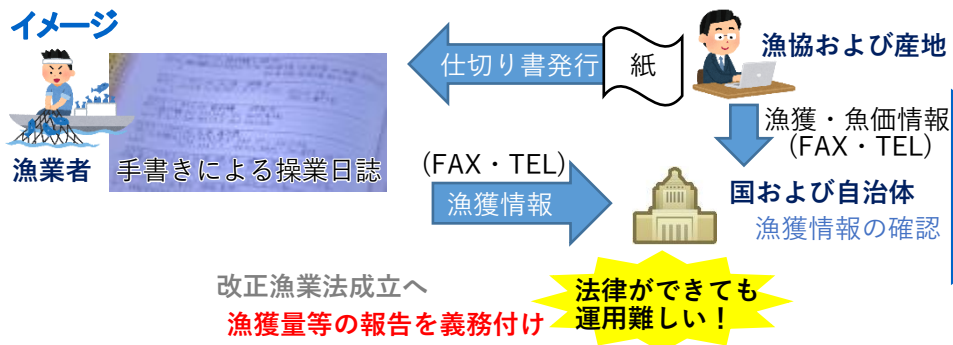
オーシャンソリューションテクノロジー株式会社、  
鹿児島大学、株式会社ユー・エス・イー、株式会社リリー

## プロジェクト概要

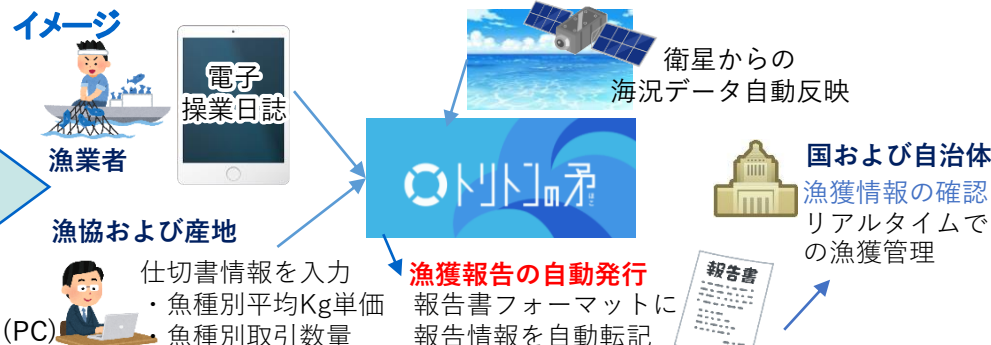
地上データと衛星データを活用して、漁業者に義務付けられた漁獲報告を自動化・電子化し、報告業務の省力化・効率化、および報告データの精度向上を図るとともに、行政による水産資源管理等持続可能な水産業へ向けたデータの有効活用に資する。

また、これらデータを解析し、収益性の観点で“どこで、どの魚をどれだけ獲るのが良い”といった情報を漁業者へフィードバックすることによって、魅力ある漁業への転換を図る。

## 導入前



## 導入後



## 活用したデータの種類

### <衛星データ>

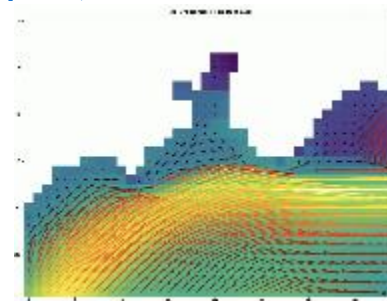
- 気象衛星「ひまわり」データを加工分析した海況情報
- ・2kmメッシュ単位の高解像度データ
- ・「ひまわり」映像から復元された海水温

### <地上データ>

- 農林漁区番号、操業日時、魚種別取引単価、潮向、流速
- 表面海水温、魚種別サイズ別漁獲量、位置

## データからアウトプットへの変換イメージ

- 海況データの可視化
- ・海水温、潮流
- ・出漁判断



## 衛星データに関する要望

海況情報・メッシュサイズの小型化による、精度向上

## サービス導入による効果(定量的に)

- ・操業日誌への海況データの自動反映による、作業時間短縮
- ・操業判断の精度向上 (空振り率の改善)